

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業計画シート					所管課		健康管理課		担当班	予防班
事務事業名	コード	18700	成人健康診査事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	5	保健の充実	根拠法令	健康増進法、肝炎対策基本法	4	1	2		
	施策の展開	12	病気予防対策の充実	戦略事業	57	成人健康診査事業				
	施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない		③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
☒ 単年度繰返 平成 7 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		≪歯周病検診≫・生涯自分の歯で健康で快適な生活が送れるよう、成人期の歯の喪失原因となる歯周疾患を予防するため、40歳・50歳・60歳・70歳を対象に4月～7月の4か月間、市内指定歯科医院にて節目検診を実施する。 ≪骨粗鬆症予防検診≫・骨粗鬆症の予防と早期発見のため、20歳から70歳までの5歳刻みの年齢の女性に骨密度測定を行う。骨密度の年齢に対する要観察者・要医療者へは保健指導を行い、要医療者へは精密検査の受診勧奨を促す。 ≪肝炎ウイルス検診≫・市民が生涯に1度は検査を受け、B型・C型肝炎ウイルスに感染しているかしていないかを知り、早期に治療することで症状が軽減し、進行を遅らせることができる。		≪歯周≫老人保健法(現:健康増進法)に基づき、実施。≪骨粗≫H7年の老人保健事業における総合健康診査のひとつとして開始。≪肝炎≫輸血や血液製剤でC型肝炎ウイルスの感染が社会問題となり、H14年度からC型肝炎等緊急総合対策の一環として、老人保健事業の基本健診対象者(40歳以上)に対し、基本健診と同時受診で5か年計画で実施が始まり。		≪歯周≫H26年「旭市歯と口腔の健康づくり推進条例」施行。H27年「旭市健康増進計画」策定。≪骨粗≫H18年度より、20～70歳までの5歳刻みの女性に検診を実施。H21年をもって県補助金(20～35歳)が廃止。(事業は継続)≪肝炎≫健康増進法に基づき、H20年度から節目検診として40歳の者、節目外検診で41歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない希望者に実施。		≪歯周≫歯科医師会からは成人期に必要な検診であり、毎年継続の要望はある。≪骨粗≫定員を超える申し込みがあり、対象年齢以外の方からも検診希望がある。≪肝炎≫受診促進を図るため、H23年度から県より40歳以上で5歳刻み年齢に達する者に個別勧奨を推進すること、個別勧奨実施年齢の上限撤廃の依頼があった。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1.消耗品費	30	パンフレット、受診票用紙等消耗品購入費
2.印刷製本費	66	封筒印刷費
3.通信運搬費	655	健診・結果通知郵送料
4.委託料	3,322	健診委託料
5.賞金	17	
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金	2,534	健康増進事業費補助金
3.地方債		
4.その他		

		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	1. 消耗品費	千円	32	33	33	30	49
	2. 印刷製本費	千円	79	17	101	66	173
	3. 通信運搬費	千円	488	558	599	655	860
	4. 委託料	千円	2,322	3,443	4,074	3,322	4,139
	5. 賞金	千円			16	17	
事業費計(A)		千円	2,921	4,051	4,823	4,090	5,221
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	1,396	1,882	2,833	2,534	3,425
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	1,525	2,169	1,990	1,556	1,796

前年度増減理由	発送方法の変更、受診者数の減少
---------	-----------------

従事職員数	常時 3 人	最大 3 人	× 6 日 =	延べ 18 人
-------	--------	--------	---------	---------

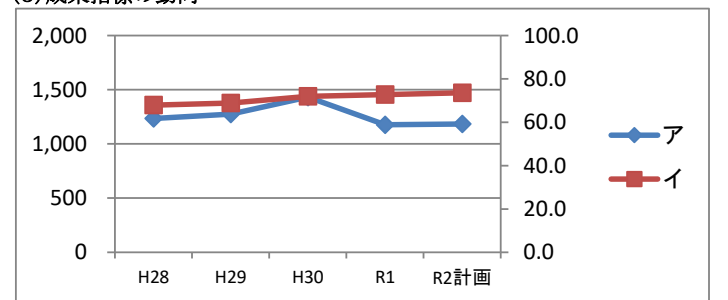
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) (歯周)4～7月に市内指定歯科医院と保健センターで集団検診を2回実施。内容は口腔内診察と歯科保健指導を実施。≪骨粗≫受診希望者が多く日程を2日増やし6日実施。(肝炎)節目対象者のほか、節目外も対象とし実施。以上3検診について周知方法は節目勧奨通知、広報、ホームページ健康だよりの区長回覧、がん検診等と同時に電子申請を継続実施。≪成人≫生活保護受給者の内科受診していない人に対象者見直し、幅広く受診勧奨した。	ア 検診勧奨通知発送件数(延べ)	件	9,195	8,500	8,540	13,120	12,415
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 検診申込受付者数	人	1,817	1,853	1,992	1,618	1,610
	対象 市民 意図 病気の早期発見、早期治療につなげ、予防していく。	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
意図		ア 検診受診者数	人	1,234	1,276	1,432	1,177	1,185
		イ 検診受診率	%	67.9	68.9	71.9	72.7	73.6

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
大きい	②		②	(2)	中位 1/3
	普通				上位 1/3
	小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	向上	横ばい
	【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標イ	数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容				比較
	令和2年4月～9月	肝炎検診の申し込み方法の見直し				27年度28年度29年度30年度1年度2計画
今後の方向性	拡大	現状維持				見直し
	縮小	廃止・休止				その他()
		令和2年4月～9月	今年度と同じ			